

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧		
No.	館名	ア ク セ ス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉もしくは小岩行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から直結、サザンスカイトワー八王子 3 階 ②京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	福生市郷土資料室	福生市郷土資料室：JR 青梅線「牛浜駅」から徒歩約 7 分 福生市役所、旧ヤマジユウ田村家住宅ともに JR 青梅線「福生駅」西口から徒歩約 7 分
9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
10	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
11	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分（土日祝運休） ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
12	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②多摩モノレール「程久保駅」下車徒歩 7 分
13	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ②京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗車し終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	東村山ふるさと歴史館：西武鉄道新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分 八国山たいけんの里：西武鉄道西武園線「西武園駅」下車徒歩 8 分
18	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分（いずれも「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
20	たましん美術館	JR中央線「立川駅」北口より徒歩約6分
21	パルテノン多摩ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 ～ 7 分
23	町田市立自由民権資料館	①小田急線「鶴川駅」6 番バス乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田経由「町田駅」行きで「綾部入口」下車②小田急線・JR 横浜線「町田駅」21 番バス乗り場から本町田経由「野津田車庫」行きまたは「鶴川駅」行きで「袋橋」下車
24	町田市民文学館ことばらんど	①小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小平市鈴木遺跡資料館	①西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回田本通り」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番乗り場から西武バス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分②西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」（小金井街道沿い）停留所から「武蔵小金井駅」行き西武バス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口から徒歩 10 分
30	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行きにて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ②「武蔵境駅」北口からムーバス境西循環に乗車し、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	日本獣医生命科学大学付属博物館	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
36	狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」（北回り）で「児童公園」バス停前
37	東京都公文書館	① JR 中央線・武蔵野線「西国分寺駅」から徒歩約 8 分 ②京王バス（寺 85 系統）「いずみプラザ前」徒歩約 4 分 ③ぶんバス（万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート）「西国分寺駅東」徒歩約 5 分
38	中央大学大学史資料館	多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」から徒歩 10 分

三多摩公立博物館協議会

催し物案内2025年度春・夏号

2025年4月～2025年9月

多摩の博物館さんぽ

でかけてみよう!

TAMAのミュージアム

東京都三多摩公立博物館協議会では、公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<https://tamahaku.jp>)やエックス（旧ツイッター）を通じ、さまざまな情報を公開しています。「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。多摩地域の博物館をめぐってみませんか！



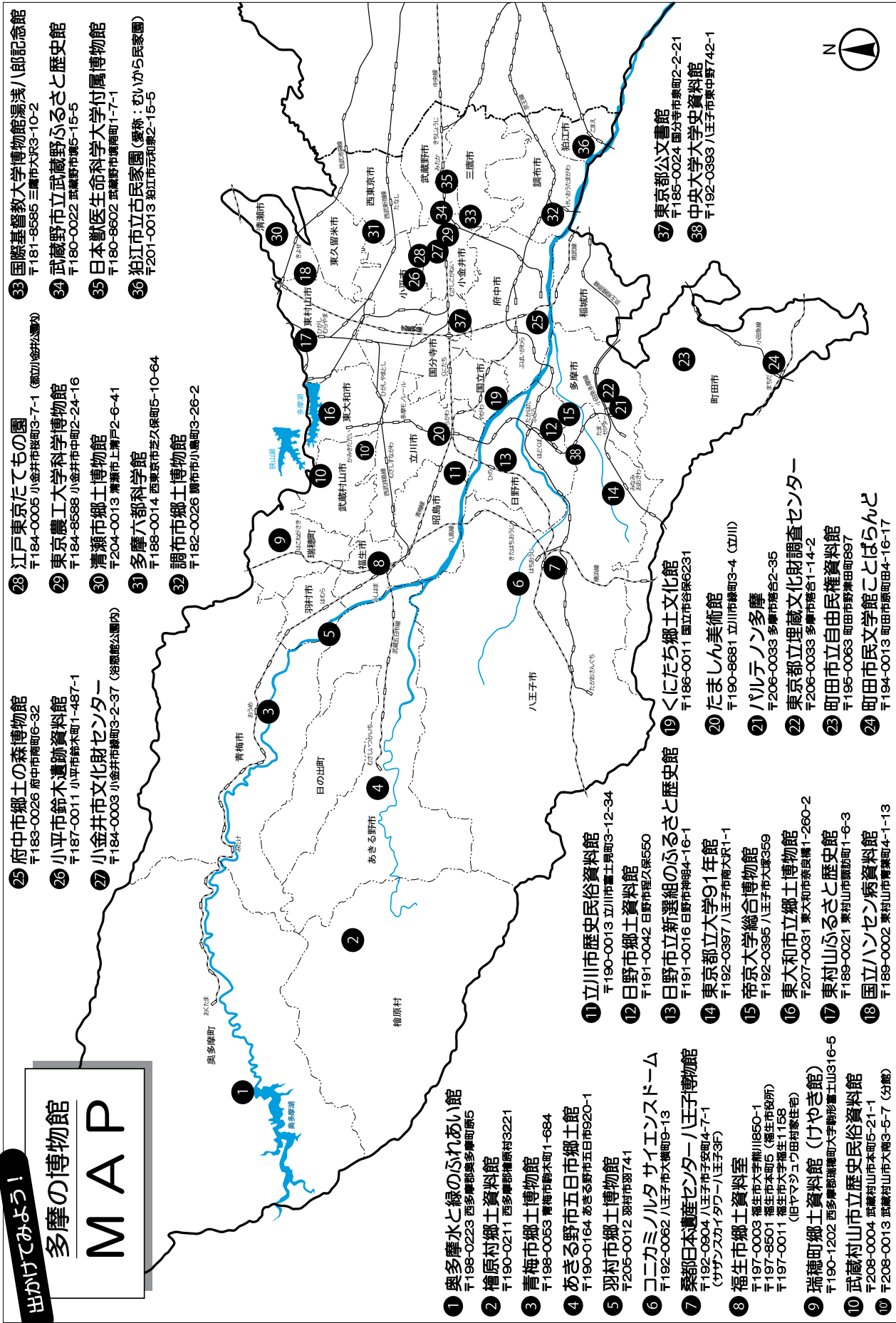
(HP)



(X)

※諸事情により催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。

出かけてみよう！
多摩の博物館
MAP



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

34 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。						
開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜日、祝日、年末年始	入館料	無料	☎ 0422-53-1811
●企画展「霊峰富士に祈る一武蔵野の富士講一」（5.24～7.24）かつて武蔵野市域でも盛んに行われていた富士講の活動について紹介します。 ●特集展示「民俗資料関連展示④ーそうごうあがりー」（4.26～6.19）「そうごうあがり」とは、仕事を休む「農休み」の日のことです。平成16年の調査記録とともにその内容を紹介します。 ●特集展示「民俗資料関連展示⑤ーお盆ー」（7.5～10.16）武蔵野市域のお盆について、市史や市域の調査事例などから再現展示を試みます。 ●企画展「戦争と武蔵野Ⅺ」（仮）（8.2～9.25）中島飛行機武蔵製作所が武蔵野町に作られた理由、戦後の施設転用について、同所をとりまくインフラ整備や運用の状況から読み解きます。 【URL】 https://www.city.musashino.lg.jp/heiwa_bunka_sports/furusatorekishikan/						
35 日本獣医生命科学大学付属博物館 本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。						
開館時間	10:30～17:00 （最終入館および物販は16:30まで）	休館日	日曜・月曜・祝日 年末年始・大学の定める休日 （その他臨時休館あり）	入館料	無料	☎ 0422-31-4151
●常設展示 歴史系展示室では大学史の紹介を、自然系展示室では野生動物の剥製や骨格標本の展示を行っています。 ●特別展「NVLU 奄美プロジェクトー研究・保全・そして未来ー」（～5.31（予定））本学獣医学部 獣医保健看護学科 獣医保健看護学応用部門 病態病理学研究分野との連携展示です。奄美大島に生息する野生動物の保全のために取り組んだ研究成果を、特に病理学・寄生虫学の側面から展示します。 ●ミニ展示 博物館の活動や収蔵資料の紹介など、様々なテーマのミニ展示を実施しています。 ※見学には事前のご予約が必要です、詳細は大学公式サイト博物館ページをご覧ください ※開館日程は事前の告知なく変更になる場合があります 【URL】 https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/ （大学公式サイト 博物館ページ）						
36 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園） 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。						
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（休日にあたるときはその翌開園日）、年末年始（12.28～1.4）	入館料	無料	☎ 03-3489-8981
●年中行事展示 端午の節句、七夕飾り、盆棚飾りなど、節句などに合わせて展示を予定しています。 ●イベント・教室 地域の生活文化や伝統文化を体験する教室などを予定しています。子ども向けの体験教室もあります。詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。 【URL】 http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,html						
37 東京都公文書館 東京府、東京市、東京都の公文書等を所蔵し、利用に供している自治体「東京都」の公文書館です。						
開館時間	9:00～17:00 （最終入館16:30）	休館日	日曜日、祝日、第三水曜日	入館料	無料	☎ 042-313-8460
●常設展示 江戸東京の歴史や行政区画の変遷などについて展示しています。 ●常設展示室内 ミニ展示 2か月を目安に、当館所蔵資料を紹介しています。 ●企画展示 夏と秋、年に2回、企画展示を開催しています。秋は国の重要文化財に指定されている東京府・東京市行政文書を展示しています。 【URL】 https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/						
38 中央大学大学史資料館 本学140年の歴史や関係者の事蹟を広く伝える資料館です。						
開館時間	10:00-17:00 （入館16:30まで）	休館日	日曜・祝日 夏季・冬季休暇および大学の定める休日（その他臨時休館日）	入館料	無料	☎ 042-674-2132
●常設展示 中央大学140年の歴史を全5章にわたって展示紹介します。 ●企画展示「中大とスポーツ 過去・現在・未来」本学が輩出したオリンピック・パラリンピアン活躍や箱根駅伝における陸上競技部の活躍を中心に、中大スポーツの軌跡を紹介します。 第1部：オリンピック・パラリンピアン活躍（～2024.12.14）・第2部：中大スポーツと箱根駅伝（12.14～2025.4.19） ●企画展示「中央大学創立140周年記念展示 140年のあゆみ」2025.7.8（火・創立記念日）～2026.4.27（月） 2025年は中央大学創立140周年であることから、創立140周年を記念する企画展示を開催します。 【URL】 https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/museum/history/						

30	清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。						
開館時間	9:00 ～ 17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29 ～ 1.3	入館料	無料	☎	042-493-8585
●企画展「第41回清瀬美術家展」(5.20 ～ 6.1) ●企画展「はたおり伝承の会作品展」(6.6 ～ (仮)) ●第36回テーマ展示「清瀬のお稲荷さん（仮称）」(5.10 ～ 7.27) ●第36回テーマ展示関連講座 (6.14) ●第37回テーマ展示 (8.10 ～) ●第37回テーマ展示関連講座 (8.10) ●事業 自然観察会 (4.13) ミュージアムシアター (6.19) けやき通り散歩 (4.26) ●先人の知恵に学ぶシリーズ 柏もち講習会 (5.16) 染物教室 (7.10) 体験はたおり (8月：詳細未定) ほか、歴史講座や文化財散歩など随時開催中。詳細は清瀬市郷土博物館ホームページへ。 【URL】http://www.museum-kiyose.jp/							

31	多摩六都科学館 世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室がある参加体験型の科学館。						
開館時間	9:30 ～ 17:00（入館は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始（12.28 ～ 1.3）、その他機器整備の休館あり（2025.4.8 ～ 11、15 ～ 18、5.7 ～ 9、7.15、16、9.2 ～ 4）	入館料	大人520円、小人（4歳～高校生）210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100
●夏の企画展「遊園地の科学（仮）」(7.19 ～ 8.31) 遊園地のアトラクションにはいろいろな物理法則が潜んでいます。アトラクションのしくみがわかる展示物に触って、試して、科学の目で遊園地の秘密を解き明かしましょう（仮） ●浮世絵がらねたりうむー江戸のお空に光る星（4.9 ～）江戸時代の絵画『浮世絵』には、どのような星が描かれているのでしょうか。プラネタリウムによみがえる江戸の空をご覧ください！ ●大人向けプラネタリウム（5.25、7.12、9.28）科学的なテーマのほか、文化やアートなど多彩な視点で星空を語る、ちょっと特別なプログラムです。投影テーマは毎月変わります（対象は中学生以上）。 【URL】https://www.tamarokuto.or.jp							

32	調布市郷土博物館 原始古代から現代までの調布の歴史をたどる。						
開館時間	9:00 ～ 16:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29 ～ 1.3 館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
●収蔵品展「描かれた深大寺」(4.26 ～ 6.1) 深大寺で行われる元三大師像の大開帳にあわせて、江戸時代の地誌から近年の版画や水彩画まで、様々な「描かれた深大寺」を当館所蔵品とパネルで紹介します。 ●企画展「郷土玩具とその背景（仮）」(7.19 ～ 8.31) 当館所蔵の郷土玩具コレクションを中心に展示し、郷土玩具の成立や流行の背景について解説します。 ●ギャラリー展 7月から11月にかけて、戦後80年をテーマに、被爆体験者の描いた絵画、調布市域に疎開した児童が先生に宛てた手紙などを展示します。 【URL】https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html 【X（旧Twitter）】https://twitter.com/chofu_museum							

33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。						
開館時間	13:00 ～ 17:00(4/8 ～ 6/20の毎週火曜・水曜・木曜・金曜と月1回の土曜以外は休館(3/7 ～ 4/7 と、7/19を除く6/21～9/8は展示替え及び夏季休暇のため休館)	休館日	4/8 ～ 6/20の毎週火曜・水曜・木曜・金曜と月1回の土曜以外は休館(3/7 ～ 4/7 と、7/19を除く6/21～9/8は展示替え及び夏季休暇のため休館)	入館料	無料	☎	0422-33-3340
●特別展「食の器と道具」(4.8 ～ 6.20) 毎週火曜 / 水曜 / 木曜 / 金曜と月1回の土曜日 (4.19、5.24、6.14)13:00 ～ 17:00 と7/19の10:00 ～ 16:00 開館。 ●ランチタイムトーク「私とICU」（日時未定）本学教授陣をゲストスピーカーに迎え、往時の思い出を聞く第12弾。Zoom ミーティングにて開催。 ●第124回公開講座「菓子木型の意匠」(5.17) 中山圭子氏（虎屋文庫主席研究員・株式会社虎屋特別理事）による講演。14:00 ～ 15:30。Zoom ウェビナーにて開催（視聴無料・要予約）。 【URL】https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/ 【X（旧Twitter）】https://twitter.com/ICU_museum 【YouTube】https://youtube.com/@ICU_museum 【Instagram】https://www.instagram.com/icu_yuasa_museum/							

1	奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。						
開館時間	9:30 ～ 17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日）、 12.28 ～ 1.4	入館料	無料	☎	0428-86-2731
奥多摩の自然とダム of の仕組みや水 of の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業などの展示や映像などで分かりやすく紹介している。 ●春の奥多摩ミニコンサート (5.10・11) ●水道週間 (6.1 ～ 6.7) ●写真展 (7.1 ～ 7.29) ●夏休みイベント (8.1 ～ 8.31) ●水源地郷土芸能フェスティバル (9.14) 【URL】http://www.okutama.gr.jp/							

2	檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。						
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880
●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。 ●特別展「夏休み昆虫標本展」(8.1 ～ 8.31) 小倉暁雄氏などが採集した昆虫標本、約440点（村内含む）を展示します。 ●特別展「檜原村のお祭り写真展」(9.14 ～ 10.13) 檜原村古くから受け継がれている郷土芸能の写真を展示します。 【URL】http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/0000000019.html							

3	青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。						
開館時間	9:00 ～ 17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29 ～ 1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859
●青梅市郷土博物館の休館 郷土博物館は館内設備の老朽化のため、令和7年4月1日（火）から休館します。 なお、休館中も資料の保管、埋蔵文化財の問合せや刊行図書の販売などの博物館業務は、月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）を除いて、当面の間、本館事務室にて行ないます。また、郵送物の送付等に伴う連絡先の変更はありません。 【URL】https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/							

4	あきる野市五日市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。						
開館時間	9:30 ～ 16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始（12.27 ～ 1.4）	入館料	無料	☎	042-596-4069
●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。 ●企画展「五日市鉄道100周年記念展示（仮称）」(7月～9月) ●ミニ企画展「郷土の古文書その39 伊勢参宮道中日記（三）」(11.12 ～ 2025.5.11) ●ミニ企画展「郷土の古文書その40 伊勢参宮道中日記（四）」(5月～9月) 享保年間に伊奈村（あきる野市伊奈）の名主が残した伊勢参りの道中日記を紹介します。全4回。 ●年中行事（旧市倉家住宅）・五月人形（4月～5月）・七夕飾り（7月）・蚊帳展示（8月）・十五夜（9月） ●栽培展示（旧市倉家住宅）旧市倉家住宅の畑で季節の野菜や穀物を栽培しています。 【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html							

5	羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。						
開館時間	9:00 ～ 17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00)	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29 ～ 1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
●「開館40年のあゆみ展」(4.5 ～ 12.7) 開館から40年間のあゆみを年表や写真などで紹介。 ●企画展「こいのぼりと五月人形展」(4.12 ～ 5.11) 甲冑飾りや武者人形、こいのぼりを展示します。 ●季節かざり「七夕かざり」(6.14 ～ 7.6) 来館者が願い事を書いた短冊を吊り下げることができる七夕かざりを展示します。 ●体験学習会「まゆから糸をひこう！」(8.10) 蚕の繭から糸をひく体験や、真綿を作る体験ができます。 【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html							

6	コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館） プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。						
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）	☎	042-624-3311
●プラネタリウムでは「しまじろうとながれぼしのねがいごと」、「新・恐竜大進撃」、「眠れなくなる宇宙のはなし」などを投影。（投影日、開始時刻等はホームページでご確認ください）。 「生解説プラネタリウム 星空さんぽ」季節の星座や天文現象を解説。（第二日曜） 「全編生解説プラネタリウム」4～6月のテーマは「夜空をさまよう星～惑星の見え方・動き方～」。7月から新テーマ（第四日曜）「トワイライトプラネタリウム」4～6月は「Feel the Earth～Music by 葉加瀬太郎～」月1回土曜日の午後6時に投影。（7月から新番組） 「太陽観望会」（5.3）「星空コンサート」6月予定（予約制、HPから申込）「星空観望会」8月予定（予約制、HPから申込） ●土日祝、春休み、夏休みには親子で楽しめる工作教室などを開催。（当日先着順または予約制、HPから申込） 【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html							

7	桑都日本遺産センター 八王子博物館 日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。						
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎	042-622-8939
桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）は、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「靈気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。桑都と呼ばれる八王子の魅力にあふれる、市内各地の文化財へあなたを誘います。 ●企画展「八王子城跡御主殿出土遺物展－北条氏照のおもてなし－」（4.26～6.29）令和5年度、6年度の御主殿発掘調査の成果を中心に、八王子城跡関連の資料を展示します。 ●企画展「むかしむかしごはん」（7.5～9.7）子ども向けに古代から近代までの食文化を紹介します。 ●企画展「見る・知る・魅せる！－文化財におけるデザインの活用－」（9.13～12.7）八王子市の文化財を知ってもらい、親しんでもらう入り口として制作されたキャラクターのイラストなどを展示します。 ●企画展「八王子の獅子舞」（12.13～2.15）八王子市内各地で獅子舞が保存継承されています。市内それぞれの獅子舞について紹介します。 ●紙芝居の上演会（開催日の14:00～14:30） 「鍵水商人と絹の道」（4.27）、「八王子城主北条氏照」（6.22）、「八王子空襲」（8.10） ●みんなで楽しむお手玉遊び（開催日の14:30～15:30）（4.27、5/25、6/22、7/27、8/10、9/28） 【URL】https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html							

8	福生市郷土資料室 福生を中心とした地域の歴史・民俗・自然を紹介します。						
開館時間	10:00～17:00（旧ヤマジユウ田村家住宅は16:00まで）	休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始、展示替え期間	入館料	無料	☎	042-530-1120
●郷土資料室企画展示 企画展示「むかし絵画家 松下紀久雄展－描かれた動物たち－」（4.19～6.22）福生市郷土資料室で所蔵するむかし絵画家松下紀久雄氏の作品の中から動物が描かれた作品を紹介する展示を行います。 企画展示「平和のための戦争資料展」（6.28～8.24）戦後80年の節目にあたり、終戦の日に合わせて、戦争資料を通して平和の大切さを再認識することを目的とした企画展示を行います。 企画展示「アイヌ関係資料展（仮）」（8.30～10.26）市内在住の方から寄贈された、アイヌ文化を伝える貴重な資料を紹介する展示を行います。 ●市役所出張展示 「福生思い出写真館－懐かしい風景編－」（4.21～7.5）現在募集している「令和の記憶・記録プロジェクト 未来に残したい福生の風景写真コンテスト」に合わせ、昭和時代に市内で撮影された懐かしい風景の写真を展示します。 「平和のための戦争資料展」（7.7～9.6）福生市郷土資料室で行う戦争資料展に合わせ、福生市に関連する戦争資料の展示を行います。 「五日市鉄道展（仮）」（9.8～11.15）五日市鉄道開通100周年を記念して、福生と五日市線との関係を伝える展示を行います。 ●旧ヤマジユウ田村家住宅主屋季節展示 「戦時下の生活と涼をとる道具展」（7.5～9.15）福生市郷土資料室で行う戦争資料展に合わせ、戦時下の生活が分かる道具と、夏の暮らしを伝える道具の展示を行います。 ※このほか、旧ヤマジユウ田村家住宅ギャラリーでは、窪田成司氏による記憶画の展示を季節ごとに入れ替えながら行っています。 【URL】https://www.museum.fussa.tokyo.jp							

26	小平市鈴木遺跡資料館 日本を代表する旧石器時代遺跡である「国史跡鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。						
開館時間	10:00～16:00	休館日	月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、年末年始（12.27～1.5）	入館料	無料	☎	042-323-2233
●常設展示 国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器の分析の結果、約2万2千年間にも及ぶ日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各時期ごとの石器群を古い方から年代順に展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるように分類して展示しています。 【URL】https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html							

27	小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、臨時休館期間（10月）、年末年始（12.29～1.3）	入館料	無料	☎	042-383-1198
当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。 ●季節展「名勝小金井桜」（～2025.5.25）桜の花期に合わせた企画展。玉川上水堤の桜並木「名勝小金井（サクラ）」の歴史を錦絵や古写真で紹介 ●小金井のサクラ写真展（～2025.5.11）小金井桜フォトコンテストの投稿写真を展示。会場：江戸東京たてもの園 ●地域史講座（年3回：夏季以降、募集は市報にて） ほか、武蔵小金井まちかど歴史ミュージアム（小金井市本町6-2-30）を実施中 【URL】https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html							

28	江戸東京たてもの園 都内の歴史的建造物を移築、復元・保存・展示し、文化遺産として次代に継承することを目指す野外博物館。						
開園時間	4～9月：9:30～17:30 10～3月：9:30～16:30（入園は開園の30分前まで）	休園日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 年末年始（12.25～1.1）	入園料	大人400円、高校生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中無料	☎	042-388-3300
●展示室「江戸東京博物館コレクション～江戸東京のくらしと食べ物～」（～2025.6.15） 「武蔵野の歴史と民俗～「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち～」（7.19～12.14） ●春夏の催し「こどもの日イベント」（5.4・5）「夜間特別開園 下町夕涼み」（8.2・3） 「綱島家年中行事」梅漬け・土用干し（5月下旬～8月土用の頃）、盆棚の展示（6月下旬～8.15） ●定例の催し ミュージアムトーク（4.26、5.24、6.28、7.26、8.23、9.27） 伝統工芸の実演（4.12・13 中野区、5.10・11 江戸川区、6.14・15 練馬区、7.12・13 北区、8.9・10 中野区、9.13・14 多摩地区） ※ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。 【URL】https://www.tatemonoen.jp/							

29	東京農工大学科学博物館 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。						
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日（創立記念日）、年末年始等（12.28～1.3）	入館料	無料	☎	042-388-7163
●企画展「企画展「女子蚕糸業教育－学理を学ぶ－」（11.17～2025.6.28）本学工学部の前身である蚕業講習所は官営の中央教育研究機関であり、明治35年に女生本科が設けられ、技能の修練並びに学理的な内容の指導がおこなわれました。今回の展示では女子蚕糸業教育での活用を想定して制作された教科書等の教材類に焦点を当ててご紹介します。また本学最後の製糸教婦であった小此木エツ子氏のインタビュー動画を展示室内にて放映します。 ●国際博物館の日記念イベント（5.25（日））毎年5月18日、世界の博物館では「国際博物館の日」を記念し、前後の期間に博物館の社会的役割を広く知ってもらうためのイベントを行います。東京農工大学科学博物館では、5/25（日）に記念イベントを開催します。当日は農工大学工学部皐月祭も開催しております。詳細はHPをご覧ください ※都合により休館日が変更される可能性があります。詳細はHP、Twitterでご確認ください。 【URL】http://www.tuat-museum.org/							

22	東京都立埋蔵文化財調査センター 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。						
開館時間	9:30～17:00 （「縄文の村」は11月～2月まで16:30閉園）	休館日	年末年始（12.29～1.3） 臨時休館（10.27・11.25・2.2） 展示替え（3月9～19日）	入館料	無料		042-373-5296
●企画展示「土の中のトーキョー ～近代考古学事始～」(3.20～2026.3.8) ●年中行事 「縄文の村」自然観察会①(4.12)、企画展示解説会①(4.12)、縄文の布作り①(5.10)、勾玉・耳飾り作り①(5.10)、調査員講演会①(5.14)、トンボ玉作り①②(5.31)、古代の糸作り①(6.21)、映像上映会①(7.5)、親子縄文土器作り(7.23)、親子勾玉作り①②(7.24)、親子で縄文の森あそび(7.29)、お子さま勾玉作り①②(7.31)、親子火おこし道具作り(8.9)、親子縄文レリーフ作り(8.9)、縄文土器の野焼き①(8.16)、親子縄文の布作り(8.18)、お子様考古学教室①②(8.21)、③④(8.22)、親子勾玉作り③④(8.24)、親子で縄文土器と友達になろう！(8.26)、縄文土器作り(8.30・31)、古代の糸作り②(9.10)、縄文土器の野焼き②(9.20)、学芸員ギャラリートーク①(9.20) ※申込方法、締切など詳細はホームページをご覧ください。 【URL】 https://www.tomaibun.jp 【X(旧Twitter)】 https://x.com/tokyo_maibun							

23	町田市立自由民権資料館 多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）	入館料	無料		042-734-4508
●「歴史の学びが楽しくなる」ことをめざした講座として「まちだ歴史講座「まち歴」」を開講します。 2025年度は10回程度の講座を開講する予定で、「講義型」「セミナー型」「ワークショップ型」などの形式で、考古・歴史・民俗の多様なプログラムを用意して募集します。 各回の内容・会場などは開催1～2か月前に発信します。町田市ホームページやX（旧Twitter）でご確認ください。 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/machida_minken							

24	町田市民文学館ことばらんど 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介						
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は開館）、毎月第2木曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）、年末年始（12.29～1.4）	入館料	無料 （秋の企画展は有料）		042-739-3420
●「ことばのカタチ展」(4.19～6.22) 日頃何気なく使っている「ことば」を見つめ直し、「ことば」の持つ力や大切さなどを感じてもらう展覧会。絵本やマンガ、詩、音楽を通して多角的に「ことば」に迫ります。 ●「絵本の森でフルーツ狩り展（仮）」(2025.7.19～9.21) くだものをテーマにした絵本を取り上げ、展示室内でフルーツ狩りを体験するようにおはなしを楽しむ展覧会。親子で楽しく食育を学べます。 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/machida_kotoba							

25	府中市郷土の森博物館 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 （入場は16:00まで）	休館日	月曜（祝日、9/22・29は開館） 5/7・8、7/22	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料 ※プラネタリウム観覧料は別途必要		042-368-7921
●特別展「田んぼとくらし（仮）」(7.19～9.7) 府中の田んぼで営まれてきた生産活動とくらしのうつりかわりについて紹介。 ●企画展「野鳥の選択」(4.26～7.6) 身近に見られる野鳥が、実は様々な事情から都市を選んで移り住んでいることを紹介。 ●企画展「国司と国司館」(7.26～11.3) 古代武蔵国府跡の調査成果を中心に、役人「国司」とその居宅「国司館」を紹介。 ●プラネタリウム春番組 生解説プラネタリウム「アークトゥルス～覚えてもらえない星～」(3.12～7.4) 明るいのに見える星「アークトゥルス」が主役のオリジナル番組。 ●プラネタリウム夏番組 生解説プラネタリウム「クイズで星空大冒険！2025」(7.8～8.31)、「今夜の星空と“アニメ『ゆるキャン△』for プラネタリウム 星空キャンプにいこう！」(7.8～未定) ●あじさいまつり(5.31～7.6) 園内に咲き誇るあじさいと古民家のコラボレーションは、郷土の森ならではの風景です。 ●曼珠沙華まつり(9.13～10.5) 秋の訪れとともに一面に咲き誇る曼珠沙華が園内を彩ります。 【URL】 https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html 【X(旧Twitter)】 https://x.com/kyodo_no_mori							

9	瑞穂町郷土資料館（けやき館） 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）		042-568-0634
●企画展「みずほの美術家たち」(4.12～6.8) 現代に活躍する、絵画と彫刻を中心にした瑞穂町ゆかりの美術家とその作品を展示・紹介します。 ●パネル展「万葉集と山野草～大伴家持が詠んだ草花の世界～」(4.12～5.25) 『万葉集』の中で一番多くの歌を残した大伴家持。万葉歌人として名高い家持が詠んだ歌から、草花を用いた短歌をパネルと森林インストラクター久保田鷹光氏撮影の写真で紹介します。 ●企画展「（仮）カルタ展」(6.7～7.6) いろはカルタ（犬棒カルタ）、百人一首などで知られるカルタ。この他にも、ご当地カルタや企業のカルタなど、個性豊かで奥深いカルタの世界を紹介します。 【URL】 https://mizuhokyodo.jp							

10	武蔵村山市立歴史民俗資料館 分館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。武蔵村山の戦争資料をもとに戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	本館：第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料		本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
本館：●常設展 丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～ 分館：●常設展 戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山 ※今年度は、収蔵資料を整理するため、常設展のみの開催となります。 【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html							

11	立川市歴史民俗資料館 立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料		042-525-0860
●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。 ●ミニ企画展「端午の節句」(4.8～5.6) 市民のみなさまから寄贈された五月人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。 ●企画展「新収蔵品展」(5.20～8.31) 令和6年度に新たに寄贈された資料の一部を公開します。 ●いきもの展示「蚕ってどんないきもの？」(5月下旬～7月上旬) 蚕の誕生から繭になるまでの蚕の成長を、観察できる状態で展示します。 ●ミニ企画展「七夕飾り」(7.1～7.8) 季節に合わせた七夕飾りを立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で行います。 ●ミニ企画展「戦後80年を経て（仮）」(7.23～9.15) 戦後80年となることを期に、夏休みの平和学習に合わせ立川市域の戦中・戦後について振り返ります。 ●写真展「立川駅前の移り変わり（仮）」(9.6～10.5) 博物館学芸員実習生による企画展です。立川駅前の変遷を写真で紹介します。 【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/shisetsu/1008065/1008098.html							

12	日野市郷土資料館 日野の歴史・民俗・自然と幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料		042-592-0981
●「ひのっ子お買い物展～モノの値段・モノの流れ～」(～2025.5.18：会期延長)「買い物」を経て得た商品や記録は、当時の様子が分かる重要な資料です。本展示では、主に明治期から高度経済成長期を対象に、モノの流通を橋渡しする機能である「買い物」を通して、当時の日野市域の暮らしをモノや文書から紹介します。 ●春季企画展「川漁展（仮）」(5.24～7.21) かつての日野市域は、アユの名産地として知られ、江戸・東京で消費する川魚の主要な供給地になっていました。本展示では、アユ漁を中心に、多摩川・浅川で行われていた漁法を紹介し、川とともに生きた時代の暮らしを探ります。 ●夏季企画展「戦後80年 明日につなぐ戦争体験 2025（仮）」(7.26～10.19) 戦争で苦しむのは、いつも名もなき人々です。「二度と戦争を繰り返さない」という願いを込めて、これまで日野市が収集した戦争関連資料を展示します。 ※詳細は館 HP をご確認ください。 【URL】 https://www.city.hino.lg.jp/museum/ 【X(旧Twitter)】@hino_museum							

13	日野市立新選組のふるさと歴史館 土方歳三・井上源三郎のふるさと日野で新選組や幕末維新、甲州道中などに関する展示を行っています。						
開館時間	9:30～17:00 (最終入館は16:30)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、 12.29～1.3	入館料	大人200円、小・中学 生50円	☎	042-583-5100
●企画展「描かれた新選組Ⅺ(仮)」(4.26～6.29) ●夏季企画展「新選組ふるさと日野を調査せよ(仮)」(7.19～9.7) 学校の夏休み期間にあわせて、「新選組のふるさと」と呼ばれている日野と「幕末」「新選組」を基本的テーマとした展示を行います。江戸時代の日野の様子やなぜ日野市が「新選組のふるさと」と呼ばれているのか、新選組や幕末について、「クイズ」を通じて紹介します。皆さんの挑戦をお待ちしています。※詳細は館HPをご確認ください。 【URL】 https://www.city.hino.lg.jp/shinsenr/ 【X(旧Twitter)】@shinsenr							

14	東京都立大学 91 年館 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。						
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・ 春季休業期間ほか(臨時休館あり)	入館料	無料	☎	042-677-1111 内線 2041
●常設展 本学内の7分野(動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学)が保有する研究資料・標本類をご覧ください。東京都立大学の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。 【URL】 https://kyomu.jim.tmu.ac.jp/kyousyoku.html							

15	帝京大学総合博物館 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。						
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時 休館日	入館料	無料	☎	042-678-3675
●企画展「ホネホネワンダーランド～骨の不思議を探る～」(2.27～8.30) 主催：帝京大学総合博物館 骨の起源から文化史、最新医学・医療まで、貴重な資料や映像を通じて骨の不思議に迫ります。骨は私たちと切っても切り離せない関係であり、骨について研究することは私たち自身を深く知ることにも繋がります。進化の歴史をたどることのできる古生物の化石や、現生動物の骨の標本をぜひご覧ください。 ※詳細・その他展示は館HP・SNSでご確認ください。 【URL】 https://teikyo.jp/museum/							

16	東大和市立郷土博物館 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。 プラネタリウムクリエイター大平貴之氏の投影機メガスターが評判。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)	☎	042-567-4800
●プラネタリウム 春番組(3.15～6.8)/ プラネタリウム 夏番組(6.14～) ●企画展示「たこたこあがれ!」(3.20～5.11) ●その他各種講座を随時開催 ●旧日立航空機株式会社変電所一般公開(毎週水・日曜日)10時30分～16時 【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html							

17	東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。						
開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、 その翌日以降の平日が休館)	入館料	無料	☎	042-396-3800
●企画展「東村山の雅楽の100年」(3.29～6.22) 市内の野口地域で大正時代から伝承されている雅楽・浦安の舞は、東村山市の無形民俗文化財に指定されています。今回はこの「雅楽・浦安の舞」について、写真と資料でご紹介します。 ●夏休み展示「自由研究のたね」(未定) 自由研究を何にしようか考えている皆さんに、東村山についての「自由研究のたね」をたくさん用意します。また、東村山市について深く知りたい人もお越しください。 ◆東村山ふるさと歴史館【URL】 https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html ◆八国山たいけんの里【URL】 https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/index.html							

18	国立ハンセン病資料館 ハンセン病問題に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。						
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、 年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎	042-396-2909
●ギャラリー展「桜を植えた人びと」(～2025.4.13) 桜の名所として知られる多磨全生園の桜並木は、70年前に入所者がその手で植え、今日まで大切に守り育ててきたものです。今や古木となった桜並木が伝える多磨全生園の歴史を多くの人に知っていただき、桜とともに入所者の想いが次の世代へと受け継がれていくことを願って企画しました。本展では70年前の桜の苗木の姿や、並木道をつくる入所者の姿をとらえた貴重な写真をはじめ、桜並木の葉を釉ゆう葉やくにして作られた陶器などの作品を一堂に集めて紹介しています。 ●常設展示解説のご案内 ハンセン病問題をより多くの方々に知っていただくために、学芸員による展示室2の「スポット展示解説」を行っています。2025年開催日(4月～6月)4.5(土)・4.13(日)・4.20(日)・5.3(土・祝)・5.4(日・祝)5.24(土)・6.8(日)・6.29(日) *各回とも13時30分開始、時間は30分程度。 *予約不要。参加を希望の方は、受付にて整理券をお受け取りの上、開始前に展示室1の前にご集合ください。 【URL】 https://www.nhdm.jp/							

19	くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日(祝日の場合は翌日)、 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-576-0211
●季節の飾り付け「鯉のぼり・五月人形飾り」(4.19～5.6) 国立市古民家とくにたち郷土文化館に、こいのぼりと五月人形を飾り付けます。 ●季節の飾り付け「七夕飾り」(6月下旬～7月上旬) 国立市古民家に、笹竹を飾り付けます。 ●秋季企画展「写真にみる本田家(仮)」(9.20～11.9) 現在復原工事を行っている旧本田家住宅および本田家旧蔵資料について、写真を中心に紹介します。 【URL】 https://www.kuzaidan.or.jp/province/							

20	たましん美術館 多摩地域の美術作品や古陶磁などを収蔵し企画展も開催。歴史資料室では地域の歴史資料を所蔵し季刊誌を発行。						
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日(祝休日の場合、翌平日)、 年末年始、展示替え期間	入館料	一般500円、大学・高校生300円、中学生以下無料	☎	042-526-7788
たましん美術館(立川) ●「春のたましんコレクション展 対話する美のかたち」(4.19～7.6) ●「生誕130年 阪本牙城 タンク・タンクロー展」(7.19～9.28) たましん歴史・美術館、歴史資料室(国立) 改修のため休館中 ※展示内容、会期は変更となる場合があります。 ※詳細は館HPでご確認ください。 【URL】 https://www.tamashinmuseum.org/							

21	パルテノン多摩ミュージアム 地域まるごと博物館のコアとして多摩市と多摩ニュータウンを自然と歴史の視点で紐解く。						
開館時間	10:00～17:30	休館日	館の休館日に準ずる(月2～5日と年末年始)	入館料	常設展は無料	☎	042-375-1414
●企画展「多摩市百草・恋路稲荷神社の秘密～古墳の上の神社の伝来資料群と黄檗寺院「資福院」の痕跡～」(～6.8) 多摩市百草の稲荷塚古墳上にあった恋路稲荷神社の伝来資料を展示するとともに、そのなかから明らかになった黄檗寺院「資福院」について現段階で判明したことなどを紹介します。 ●企画展「戦争と多摩の人々(仮)」(6.14～11月(予定)) 戦後80年にあたり、出征者などの記録から、多摩の人々が体験した戦争について振り返ります。(関連講演会等も予定) ●特別展「多摩市の生きもの大集合(仮)」(6.21～7.29) 多摩市が2024年度に実施した「多摩市生きもの調査隊」で明らかになった市内の生物多様性を紹介します。(関連事業も予定) 【URL】 https://www.parthenon.or.jp/ 【X(旧・ツイッター)&インスタグラムID】@par_tama_museum【Facebook】 https://www.facebook.com/25thparthenon							